

平和運動センター通信 原水禁ヒロシマニュース

■発行：広島県平和運動センター
原水爆禁止広島県協議会（広島県原水禁）
■〒733-0013 広島市西区横川新町7-22 自治労会館 1階
■TEL:082-503-5855 FAX:082-294-4555
■E-mail:h-heiwa@chive.ocn.ne.jp
■広島県原水禁 ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~gensui/>
ー子どもや孫たちに、戦争も核もない、美しい地球を！ー

No.193

2017年
1月号
(1月1日)

発行責任者
藤本講治

明けまして おめでとうございます。
本年もよろしくお願ひいたします。
平和運動センター・県原水禁役職員一同



――目次――

- 1頁：1月の活動予定（1/1現在）
- 2頁：「12・8不戦の誓いヒロシマ集会」開く（12月8日）
- 3頁：「安倍政権の暴走を止めよう！1・19街頭行動」へ結集を
- 4頁：「広島朝鮮小中高級学校」へ支援金を贈呈（12月7日）
地区労だより（佐伯・大竹・廿日市地区労組会議）
- 5頁：「被爆71周年原水禁広島大会第3回県実行委員会」開催
「2016原水禁学校・第3講座」開催（12月2日）
- 6頁：「もんじゅを廃炉へ！全国集会」開かれる（12月3日）
「世界人権宣言68周年記念広島集会」開催（12月11日）
- 7頁：新聞に見る「ヒロシマ」（11/28～12/18）
- 8頁：ご案内〔「1.27ネバダデー」核実験全面禁止・核兵器廃絶を求める市民行動〕
〔広島県原水禁第86回理事総会〕
〔2016年原水禁学校・第4講座〕

【1月の活動予定】

- 6日(金)17:00 2017 連合広島・広島県労協新春旗開き・賀詞交歓会＝リーガロイヤルホテル広島
- 7日(土)13:00 部落解放同盟広島県連合会 2017年荊冠旗開き＝福山市人権交流センター
- 8日(日)12:10 朝鮮総聯広島県本部 2017年新春の集い＝ホテル広島ガーデンパレス
- 12日(木)17:30 高校生平和大使・高校生1万人署名活動実行委員会サポーター会議＝広教組会議室
17:00 広島県原水禁1月常任理事会＝自治労会館
18:30 平和運動センター第2回常任幹事会・第1回幹事会・地区労代表者会議＝自治労会館
18:30 「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」世話人会＝広島弁護士会館
- 14日(土)13:00 被爆二世相談日＝平和運動センター事務所
- 17日(火)13:30 原爆ドーム世界遺産登録20周年記念行事第2回実行委員会＝ワークピア広島

- 19日(木)17:30 「ストップ!戦争法ヒロシマ実行委員会」街頭行動＝広島市・八丁堀
 22日(日)10:00 社民党広島県連合 2017年新春旗開き＝ワークピア広島
 25日(水)15:00 中国ブロック平和フォーラム・原水禁代表者会議＝山口市
 27日(金)12:15 「1.27ネバダデー」座り込み行動＝原爆慰霊碑前
 17:30 広島県原水禁第86回理事総会＝自治労会館
 18:30 「原水禁学校第Ⅳ講座」＝自治労会館
 2/1日(水)13:00 平和フォーラム第5回運営委員会・原水禁第5回常任執行委員会＝連合会館

「12・8不戦の誓いヒロシマ集会」開く(12月8日) ＝辺野古新基地・高江ヘリパット建設反対、沖縄の闘いに連帯を＝

12月8日、自治労会館において120人が参加して「12・8不戦の誓いヒロシマ集会」を開催しました。

主催5団体を代表して、戦争をさせないヒロシマ1000人委員会呼びかけ人代表の秋葉忠利さんは、あいさつで「安倍総理がオバマ大統領と真珠湾を訪問することになっているがその意図は、平和を推進するためではなく、平和に名を借りて戦争を推進するものである。オバマ大統領の広島訪問もその場を使って『アベ劇場』を展開しようとしたものである。私たちは、こうしたことをきちんと認識して粉碎していかなければならない。そのための12.8集会である。沖縄の実相を学び、さらなる運動を展開していこう」と述べました。

集会では、女性に寄り添いながら、沖縄で基地と人権問題に長年取り組んでおられる高里鈴代さん(「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」共同代表・「オール沖縄会議」共同代表)が「沖縄からの問い—なぜ米軍基地建設が続くのか、なぜ米軍の暴力が続くのか」と題して講演を行いました。高里さんは、参議院選挙で示された沖縄の民意を無視する形で国が強行している高江ヘリパット建設や辺野古新基地建設をめぐって現地で何が起きているのかを話されました。

そして、戦後の米軍統治時代から復帰後、今日に至るまでの長きにわたって沖縄の女性や子どもが駐留米軍関係者による性暴力などに遭い、苦しめられてきた歴史が話されその背景には、日米軍事同盟・日米地位協定の問題があると指摘されました。私たちは沖縄の闘いに連帯し反基地の闘い、人権・人間の尊厳を守る闘いを進めていかなければなりません。

集会の最後に、いま再び「戦争をする国」へと暴走する事態を直視し、戦争につながる一切を拒絶する取り組みを強めようとのアピールを参加者全員で採択し、平和運動センター佐古議長が閉会のあいさつが行って、集会を終了しました。



12・8不戦の誓いヒロシマ集会アピール

1941年12月8日、すでにアジア諸国への侵略戦争を続けていた日本は、ハワイの真珠湾を奇襲し世界を巻き込んだ太平洋戦争に突入しました。この一連の侵略戦争は、中国をはじめアジアの国々で数千万人、日本人300万人あまりの未曾有の犠牲者を出し、広島・

長崎への原爆投下をもたらし、日本の無条件降伏をもって終了しました。私たちは侵略戦争と植民地支配の反省に立って、この「12月8日」を「8月6日」と並んで、ヒロシマが日本が忘れてはならない日として不戦と民主主義の確立を誓ってきました。

しかし、暴走を続ける安倍政権は、憲法審査会を再始動し、9条を始めとした憲法「改正」へと着々と歩を進めています。そして、「戦争法」の強行成立で可能となった「駆けつけ警護」や「宿营地共同防衛」の任務を南スーダンに派遣されている自衛隊に課しました。自衛隊が海外で人を殺し殺されることが現実になろうとしています。

一方で、「基地はいらない」との沖縄県民の声を無視して続けられる辺野古への新基地建設、ヘリパット建設にあたっては、警察・自衛隊・海上保安庁など持てる権力を総動員しながら、反対する市民の声を圧殺しようとしています。戦争法成立と同様に、新基地建設においても、沖縄の民意を顧みず、国家権力で反対運動を封じ込めようとしています。

この沖縄の姿は、日本の写し鏡であり、辺野古問題を私たち自身が自らの課題として取り組むことが強く求められています。

私たちは改めて、戦争の歴史・教訓に学び、そしていま再び「戦争をする国」へと暴走する事態を直視し、戦争につながる一切を拒絶する取り組みを強めなければなりません。戦後71年を戦前に回帰させないため、本日ここに集う私たちは、さらに広範な人々とともに平和と民主主義を守るための活動を一層強化することを心に刻み、12.8不戦の日の誓いとします。

2016年12月8日

12.8不戦の誓いヒロシマ集会

「安倍政権の暴走を止めよう！1・19街頭行動」へ結集を

＝憲法破壊・人権破壊・生活破壊をすすめる安倍政権と対決しよう＝

2015年9月19日に強行採決された「戦争法」。「戦争をさせないヒロシマ1000人委員会」は、2014年5月の結成以来、「集団的自衛権」の行使容認の閣議決定阻止（・撤回）、そして、「戦争法（案）」廃案（・廃止）の闘いに取り組んできました。闘いの中で多くの市民との共同行動（「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」）が作り出されてきました。こうした運動をさらに発展させなければなりません。



新しい年の闘いのスタートとして、1月19日、広島八丁堀 11.11ヒロシマ集会（原爆ドーム前）福屋前で「安倍政権の暴走止めよう！自衛隊は南スーダンから撤退を！」と街頭行動を行います。多くの方の参加を呼びかけています。

「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」1月街頭行動

◇日時 1月19日（木）17時30分～18時30分

◇場所 広島市八丁堀・福屋前

◇内容 戦争法廃止街頭宣伝活動

「広島朝鮮初中高級学校」へ支援金を贈呈（12月7日）

＝金剛山歌劇団広島公演実行委員会＝

金剛山歌劇団広島公演実行委員会（佐古正明実行委員長・平和運動センター議長）は、12月7日、広島朝鮮小中高級学校を訪問して、去る11月14日に広島文化学園HBGホールにおいて開催した「広島朝鮮初中高級学校チャリティーコンサート・金剛山歌劇団広島公演」の収益金から、166万9千円を支援金として学校長に贈呈しました。

公演の成功に向け、ご支援・ご協力をいただきました実行団体のみなさまに心より感謝申し上げます。平和運動センターは、朝鮮学校が「高校授業料無償化」制度から除外され、地方自治体による補助金の停止、さらに、ヘイトスピーチ・民族差別など朝鮮学校に対する差別がより深刻さを増している時だけ、今後も朝鮮学校への支援の取り組みを強化していきますので、各構成組織のご理解とご支援を引き続きお願いいたします。



地区労だより【佐伯・大竹・廿日市地区労組会議】

＝「護憲・平和・原水禁・人権」運動を地域で推進していきます＝



佐伯・大竹・廿日市地区労は、これまでも反核平和の火リレー、非核・平和行進など反戦、平和活動に取り組んできたところですが、総会はここ数年開催できておらず幹事会もリレー、平和行進の前に1回行うのみであり積極的な活動

とは言いがたい状況です。

そうした中、数年前から年に1度外部講師を呼んで学習会を開催しています。今年度は12月8日に前回（2016.1.8）同様、広島市立大学広島平和研究所の河上暁弘准教授をお招きし、「いま憲法と平和を考える」と題し学習会を開催しました。

河上准教授は『国家権力の三大失敗として、「無謀な戦争」「人権侵害」「権力の集中」が挙げられるが、過去に国家がしでかしてきた失敗をリスト化し、国家権力の授権や権力行使を制限・禁止して、失敗を繰り返させないようにするために日本国憲法ができた。しかし、現在の安倍政権は先の参議院議員選挙後、改憲勢力が3分の2以上になったことを受け、改憲の動きを加速化させている。そもそも、憲法改正の必要性があるから憲法改正をするのがあるべき順序であるにもかかわらず、「まず憲法を変えよう」と改憲ありきの前提から出発して、「どこをどのように変えるかだけ憲法審査会で議論しよう」というのは逆立ちした議論である。安倍政権にとって憲法改正とは、現憲法ではできないことをするためのものであり、安保体制ですらできない海外の武力行使を行うことである。これは、侵略戦争以外の武力行使すべての解禁を目指すこととなる可能性を秘めている。そうならないためにも、私たちは言うべきことは言わないといけないし、自分の言葉でしっかりと伝えることが大事である。民主主義に観客席はない。「声をあげること」「風に立ち向かうこと」「ヒーローヒロインを待望しないこと」。すべては一人から始まり、仲間がいて一人ひとりが当たり前のように行動すれば、世の中は少

しずつ変わっていく』と述べられました。

私たちは引き続き、憲法の改悪を許さない取り組みを進めていく必要があります。また、原水爆禁止運動の推進、反差別・人権確立の運動推進、食・緑・水・環境を守る運動の推進などについても、引き続き取り組みを進めていかなければなりません。広島県平和運動センターをはじめ、各地区労のみなさま方にご迷惑をおかけすると思いますがご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

(佐伯・大竹・廿日市地区労組会議事務局長 宮下崇斉)

「被爆 71 周年原水禁広島大会第 3 回県実行委員会」開催

＝第 19 代高校生平和大使が国連欧州本部訪問報告行う(12 月 2 日)＝

12 月 2 日、自治労会館において 59 人が参加して、被爆 71 周年原水爆禁止世界大会第 3 回広島県実行委員会を開催しました。開会にあたり佐古正明代表委員（平和運動センター議長）は、「今年は G 7 外相会合が広島で開催、米国オバマ大統領の広島訪問など原爆投下後 70 年かけて当事者の被爆地ヒロシマを訪問したことは評価できる。トランプ新大統領となるが国際情勢は不安な面もあるが、我々の原水禁運動を進めていかなければならない」とあいさつを行いました。



会議の初めに、「2016 年第 19 代高校生平和大使」岡田美優さん（広島県立広島高校 1 年）、吉田菜々子さん（ノートルダム清心高校 2 年）、伊藤美波さん（広島市立舟入高校 2 年）から 8 月に訪問したスイス・ジュネーブでの国連欧州本部の報告を受けました。平和大使は、「高校生平和大使は、来年 20 周年を迎える。核兵器廃絶と平和な世界の実現に向けて、次の代へと活動が継続していくようこれからも活動を続けていく」と力強い決意表明がありました。

その後の大会のまとめでは、世界大会の概要、参加者アンケートの紹介など、戦後・被爆 71 周年原水禁大会の取り組みについて報告を行いました。出席者から「被爆者から直接、被爆体験を聞く場を大切にしながら被爆地ヒロシマの役割を果たしていこう」

「分科会、ひろばなどで原水禁の課題を討論するとともに、福島や沖縄の現実を知ることが重要である」「運営面では、開会総会に世代を超えて多くの市民が関わられるような企画を考えたらどうか」などの意見が出され、来年の被爆 72 周年の大会に活かしていくこととし被爆 71 周年原水禁世界大会広島県実行委員会を閉じました。

「2016 原水禁学校・第 3 講座」開催（12 月 2 日）

＝「核兵器廃絶と日本の役割」＝

12 月 2 日、被爆 71 周年原水禁世界大会広島県実行委員会終了後、「原水禁学校・第 3 講座（講師：秋葉忠利 県原水禁代表委員・前広島市長）」を開催しました。

講座は、「核兵器廃絶と日本の役割」をテーマに、世界的に今焦点になっている核廃絶の動きについて講演いただきました。秋葉さんは、「『法の支配』とアメリカとの関わりについて、米国はトランプ新大統領が就任予定であるが長期的にはオバマ大統領によってアメリカが



根本的かつ良い方向に変わりつつある。しかし、日本政府の核兵器禁止条約締結に向けての対応は、『日本政府の裏切り』である」と話し、私たちはもっときびしく批判の声を上げなければならない。そして、原水禁運動・反基地闘争・戦争をさせない 1000 人委員会運動などを職場や地域で頑張らなければならないと訴えられました。

詳細については、ブログ「ヒロシマの心を世界に」に掲載してありますので、ご覧ください。

「もんじゅを廃炉へ！全国集会」開かれる（12月3日） ＝政府の廃炉方針受け、800人が氣勢上げる＝

1995年12月に起こった高速増殖炉「もんじゅ」のナトリウム漏出事故から21年、「もんじゅを廃炉へ！全国集会」が12月3日、福井県敦賀市で開かれ、全国から800人が参加しました。（広島から2人参加）

白木海岸で行われた現地抗議集会は、「もんじゅを完全に廃炉にするぞ」「核燃料サイクルを阻止するぞ」と氣勢を上げ、もんじゅゲート前までデモ行進を行いました。ゲート前では、原水禁国民会議の藤本泰成事務局長が、使用済み核燃料や放射性廃棄物の具体的な処分方法を示すことなどを求めた申し入れ書を原子力研究開発機構に手渡しました。

その後の「もんじゅを廃炉へ！全国集会」（プラザ萬象）では、もんじゅ訴訟の原告側弁護団の福武公子弁護士、脱原発を訴える民進党の菅直人元首相らの講演。そして、政府の廃炉方針を受け、廃炉とともに核燃料サイクル政策を断念するよう国に求める決議文を採択しました。集会終了後、敦賀駅前までデモ行進を行い、もんじゅは完全廃炉にしろとアピールしました。



「世界人権宣言68周年記念広島集会」開催（12月11日） ＝いま改めて人権の大切さを考える＝

12月11日、三原市リージョンプラザにおいて、「世界人権宣言68周年記念広島集会」が開催されました。（部落解放県共闘会議加盟労組から約100人が参加）

この集会は、世界人権宣言が採択された12月10日を節目に「あらゆる差別を撤廃し、人権を確立することから世界の恒久平和を実現することにつながる」その具体化をめざして、毎年開催されています。

主催者を代表して、世界人権宣言の実現を求める広島県実行委員会の伊藤泰郎委員長は、「国内ではヘイトスピーチ・排外的な行動、沖縄・高江での機動隊員の差別発言などが続発している。今一度、世界人権宣言の精神に立ちかえり、差別のない平和な社会の実現するため考えていく集会にしていきたい」とあいさつしました。



記念講演は、精神科医で立教大学教授の香山リカさんが「いま改めて人権の大切さを考える—ヘイトスピーチ、相模原事件から見えるもの」と題して講演を行いました。香山さんは、差別的煽動(ヘイトスピーチ・ヘイトデモ)、アイヌ民族差別、沖縄への差別、障害者差別などの人権侵害の実態に触れながら、「人権で何より大切にされるべきは『命』である。そのことが余りにもあたりまえすぎて忘れがちになっている」と指摘し、あなたの「あたりまえ」をいつも信じて大切にしてください。と参加者に訴えました。

新聞に見る「ヒロシマ」(11/28~12/18)		
見出しから	日付	新聞
日本「平和のリーダーに」 国連難民高等弁務官	11. 28	中国
被爆実態の発信へ協定 広島大 平和文化センターと	11. 29	中国
広大 平和教育拡充へ 平和文化センターと協定	11. 29	朝日
放影研の被爆二世健診 1年後めど 解析終了	11. 30	中国
宮島の原爆死者 学生が記録映像に	11. 30	朝日
無言で語る8月6日 原爆ドーム 内部を撮影	12. 1	朝日
この姿 伝え続ける 原爆ドーム世界遺産20年	12. 2	朝日
原爆ドーム周辺 広島市が電飾計画	12. 3	朝日
開戦75年 反省語って 首相訪問 被爆者注視	12. 6	中国
県被団協 事務局長に前田氏	12. 6	朝日
原爆ドーム周辺に電飾 慰霊の場 批判も	12. 7	中国
原爆ドーム周り電飾 波紋	12. 8	朝日
原爆ドーム電飾 現地で100人シール投票	12. 9	朝日
「平和資料館、第4のキャンパス」広大、平和文化センター	12. 13	朝日
平岡元市長 原爆ドーム語る 「歴史認識問われる遺跡」	12. 14	朝日
原爆ドーム周辺での電飾 来訪者に賛否調査へ	12. 15	中国
原爆ドーム 歩みたどる 資料展開幕	12. 16	中国
島根2号機 再稼働 依然見通せず	12. 18	中国

【ご案内】

- 「1. 27ネバダデー」核実験全面禁止・核兵器廃絶を求める市民行動
 - ◇日 時 1月27日(金) 12時15分~12時45分
 - ◇場 所 原爆慰霊碑前
 - ◇内 容 座り込み
- 広島県原水禁第86回理事総会
 - ◇開催日 1月27日(金) 17時30分~18時30分
 - ◇場 所 自治労会館大会議室
- 2016原水禁学校・第4講座
 - ◇開催日 1月27日(金) 18時30分~20時
 - ◇場 所 自治労会館大会議室
 - ◇内 容 世界の核被害者

講師：森瀧春子さん(核兵器廃絶をめざすヒロシマの会)

